

各位

上場会社名 株式会社 鳥羽洋行
 代表者 取締役社長 三浦 直行
 (コード番号 7472)
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 松永 健一
 (TEL 03-3944-4031)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月8日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,400	1,065	1,131	651	122.83
今回発表予想(B)	11,976	867	931	556	107.17
増減額(B-A)	△1,424	△198	△200	△95	——
増減率(%)	△10.6	△18.6	△17.7	△14.6	——
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	12,399	973	1,040	609	115.00

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	26,200	2,030	2,157	1,250	235.85
今回発表予想(B)	24,000	1,640	1,760	1,000	194.32
増減額(B-A)	△2,200	△390	△397	△250	——
増減率(%)	△8.4	△19.2	△18.4	△20.0	——
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	25,800	2,115	2,251	1,286	242.66

修正の理由

昨年来の、米国におけるサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融市場の混乱の影響等により、世界経済全体が減速感を強めております。こうした世界経済の減速の動きは、今まで好調を維持してきた日本の輸出企業の設備投資の動向にも大きな影響を及ぼしてきております。

このような経済動向は、当社の関連する販売先の中で半導体製造装置、携帯電話、及び自動車・車載部品等の業界に大きな影響を及ぼし、同業界の設備投資は大きく減速してきております。

当社におきましても、当第2四半期における業績にも大きく影響し、半導体製造装置等の業界向けの制御機器部門の売上は期初の計画を大きく下回ってきました。更に、自動車・車載部品業界における設備投資も、新車販売の不振の影響が顕著となり、同業界向けの産業機器部門の売上も予想を下回ってきております。このような結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高119億76百万円、営業利益は8億67百万円、経常利益は9億31百万円、四半期純利益は特別利益(投資有価証券売却益24百万円)があり5億56百万円となる見込みであります。

また、世界的な金融市場の混乱が治まらない現在の状況及び円高傾向、原材料価格の高騰等の影響により、当面わが国経済の急速な好転は望めず、当社が関連する業界も厳しい環境が続くことが見込まれます。当社は、厳しい環境下でも比較的堅調な推移を示しているFA部門に一層注力するとともに、制御機器部門の落ち込みを改善するため、販路の拡大等を行って落ち込みを軽減する計画であります。利益面におきましては、原材料価格の高騰等の影響もあり厳しい状況が予想されます。以上の結果、通期の業績見通しは、売上高240億円、営業利益は16億40百万円、経常利益は17億60百万円、当期純利益は10億円となる見込みであります。

以上の通り平成21年3月期第2四半期累計期間及び通期の見通しを修正いたします。

(注)上記の業績の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により記載の予想数値とは異なる可能性があります。

以 上